

会報 No2

理事会を開催

十月十九日(月)午後六時三十分から、当会事務所において、第二回理事会が開催されました。審議事項としては、受託業務設計基準について「が提案され、特段の意義なく承認されました。この基準は、当会が受託する調査、設計等の積算は、国土交通省の制定する「設計業務等標準積算基準書」に準拠して行うもので、監管理費等の割合は、会の運営上必要かつ妥当な割合とし、当面11%程度とします。12月15日の益税となる消費税相当額を定めたいわゆる諸経費率の割合は、受託金額の20%程度となり、これを会の運営費や会員の研修費などに充てるように考えていきます。

続いて報告事項として、事務局から次のような報告がありました。

①平成二九年度受託業務の実施結果について

三月二十五日(日)、(公財)名古屋まちづくり公社において熱田界隈調査を実施し、当会は調査取組まじめ業務を受託しました。

②平成三十年度定期活動報告

事務局会議を六月二十五日、七月

二十日、九月二十日、十月十八日に開催しました。

中村区にございます遊郭建築物が取り壊されることとなり、七月二日(日)、六日金の両日、(公財)名古屋まちづくり公社において実測調査を実施され、当会がその取組まじめ業務を受託しました。

③平成三十年度定期活動予定

十月二十五日(日)、(公財)名古屋まちづくり公社において、幅下界隈調査が実施される予定です。当会は、調査取組まじめ業務の受託について検討中です。また、昨年同様、なごや歴まちびとの会が受託していたなごや歴まちびと体験発表会の事務受託についても検討しています。

④パンフレットの作成

当会の広報用パンフレット作成について報告しました。

パンフレットを印刷

十月二十六日(日)、当会の広報用パンフレット印刷が完了し納品されました。このパンフレットは、A4版画面カラー印刷三折りの立派な仕上がりです。会の活動のPR、歴まち活動のPR、会員の募集など多岐にわたるものです。パンフレットの必要性が

方は、事務局までお申し出ください。発行部数は、1000部です。

幅下界隈調査

十月二十五日(日)、幅下地区歴史的界隈現況調査が実施されました。この調査は、昨年度の熱田界隈調査に続いて、歴史的界隈である西区幅下地区における建築物等を、件数調査するものです。現況調査は、(公財)名古屋まちづくり公社が実施したもので、調査員は、なごや歴まちびと及みなごや歴まちサポーターの中から、公社が募集し実施されました。調査員一名で班を作り、建築物については、その用途・建築年・階数・外観・建物の状態・歴史的建造物がどこかなど、一工作物については、その築造時期、空きの地の場合は、利用内容などをすべて、路上から判定できる範囲に限る()調査するものです。調査後の図面作製も含めて、朝九時半から午後四時三十分までかかりましたが、調査は無事終了しました。

当会では、この現況調査の取組まじめ業務を受託する方針の調整をしております。

実行委員会委員の募集

当会では、なごや歴まちびとの会が実施してききました実行委員会(の活動を引継ぐために、実行委員会制度を設けています。四月十八日の第一回理事会で承認を得て、フォローアップ委員会、見守委員会、学術委員会、登録委員会の四委員会を設置しています。できるだけ多くの人に実行委員会活動に参加していただくよう、現在事務局において、実行委員会の委員の募集を検討しています。準備が整いましたら、別途、委員の募集を致しますのでよろしくお願い致します。

関連団体連絡会

特定非営利活動法人あいちヘリテージの会、愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会、愛知登文会)及び当会で、関連団体連絡会として会を組織し、二ヶ月に一回程度開催していきます。歴史的建造物の保存活用や歴まちまちづくりに関する事項について、各団体相互の情報交換を主な目的としています。連絡会の要請で、十月十日、愛知登文会主催の建物特別公開「2018」のうち、中村公園記念館、豊頌軒の公開に澤村、鈴木両理事、野口専務理事が参加しました。編集後記「事務局員も多忙な日々を過ごしていますが、なごやへ、会報No.2」を発行できました。皆様、良いお年を。